

施策3

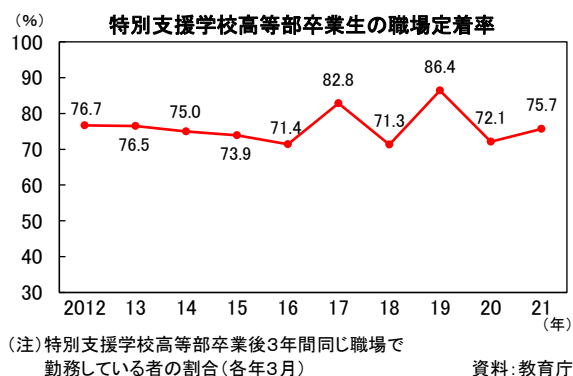
一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進

障害のある児童生徒の自立や社会参加を促進するため、個に応じた適切かつ専門性の高い指導・支援に取り組みます。

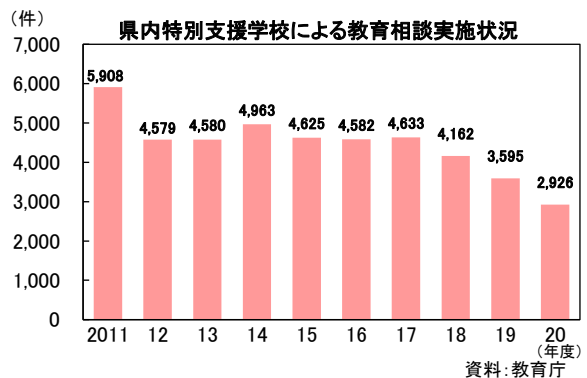
令和2年度の取組・成果

- 特別支援学校高等部生徒の卒業後の社会的・職業的自立、産業現場等における実習の受入れ及び雇用の拡大に向けて、地域の企業等との連携・協働により実施している青森県版「特別支援学校技能検定」についてオンラインでも実施できるよう改善を図ったほか、青森県教育庁障害者就労促進センターにおいて、特別支援学校卒業生等に就労機会を提供するとともに職業スキルの育成を図り、企業就労への移行を支援しました。
- 本県における特別な教育的ニーズのある子どもたちの学びを支援するため、「青森県特別支援教育情報サイト」の充実を図りました。また、個別の教育支援計画の作成及び活用に関する研修会を4地区で実施するとともに、医療、福祉関係者を講師とする研修会を35回開催し、特別支援学校教員の専門性向上を図りました。

施策の現状を表す指標の動向等



特別支援学校高等部卒業生の職場定着率は、70%以上で推移しています。



特別支援学校による教育相談件数は、2018年度以降減少傾向となっています。

■主な課題と今後の取組の方向性

主な課題	今後の取組の方向性
特別支援学校高等部生徒の卒業後の社会的・職業的自立のための諸能力の伸長、産業現場実習の受入れ及び進路希望の実現に向けて継続した取組が必要です。	地域の企業等と連携・協働し、青森県特別支援学校技能検定・発表会を継続して実施するなど職業スキルの育成を図るとともに、生徒の進路実現のための体制整備を進めます。
小・中・高等学校における特別な教育的ニーズのある児童生徒数が増加しているほか、相談・支援内容が複雑化・多様化しており、支援する側である特別支援学校教員等の専門性の向上に加え、関係機関が一体となって子どもの学びを支える体制の強化が求められています。	関係機関との連絡・調整機能の充実に向けた仕組みづくりや連携を担う特別支援教育エリアコーディネーターの育成等を進めていきます。 また、教育相談ガイドブックの作成・活用を進めるとともに、外部人材を活用した研修の実施により特別支援学校教員の専門性向上に取り組みます。

(参考) 令和2年度における県教育委員会の主な事業の取組状況

1 特別支援学校技能検定事業【学校教育課】 406千円

取組状況	特別支援学校高等部生徒の社会的・職業的自立を促進するため、地域の企業等との連携・協働により2部門6分野で構成される青森県版「特別支援学校技能検定」をオンラインでもできるように改善を図った。なお、本技能検定・発表会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とし、各校で検定種目の技能向上に向けた取組を行った。 また、「特別支援学校就職サポート隊あおもり」登録企業が342社となるなど、生徒の進路実現のための体制整備を進めることによって特別支援学校におけるキャリア・職業教育の充実を図った。
------	---

2 地域における特別支援教育相談体制強化事業【学校教育課】 1,256千円

取組状況	県内6地区にある特別支援連携協議会へ指導・助言するエリアアドバイザー(4人)を委嘱するとともに、教育支援ネットワーク強化会議(年4回)の開催や、個別の教育支援計画の活用に関する研修会(4地区)を開催した。これらにより、地域における教育相談体制の在り方について検討し方向性等が明確になった。 各県立特別支援学校において医療や福祉関係者を講師に招へいした研修会を実施し(延べ35回)、特別支援学校教員の専門性向上を図った。
------	---

3 一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進

3 特別支援学校における障害者スポーツ推進事業【学校教育課】 2,286千円

取組状況	特別支援学校の児童生徒が、生涯を通じてスポーツに親しむ態度を学校教育段階から育成するため、障害者のスポーツ参加の推進を検討するための推進委員会の設置、特別支援学校15校における地域のスポーツ団体等と連携した活動（各校3回）、知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱の特別支援学校に在籍している児童生徒が参加できるスポーツ大会を行った。
------	---

4 特別支援学校生徒の夢や志を支援する就労促進事業【学校教育課】 47,051千円

取組状況	特別支援学校高等部卒業生等の社会的・職業的自立を図るため、青森県教育庁障害者就労促進センターを県内3箇所に設置し、特別支援学校卒業生等26人を雇用した。このうち8人が企業へ就労した。
------	---

5 スクールライフサポーター配置事業【教職員課】 3,307千円

取組状況	発達障害など特別な支援を要する生徒に対し、授業補助や学校生活支援及び社会性向上支援等を行うスクールライフサポーターを県立高等学校3校に配置し、きめ細かな支援を行うことで生徒の学習意欲向上等につながった。
------	---

6 教材・設備整備費（特別支援学校）【学校施設課】 27,368千円 （施策4に掲載）